



国民歌謡をピアノの伴奏に合わせて歌う会員

国民歌謡26曲 色あせぬ響き 中区でコンサート

広島市内のコーラスグループ「国民歌謡をもう一度歌う会」が30日、中区のメルパルク広島で結成10周年を記念したコンサートを開いた。会員33人が戦中、

戦後の懐かしい曲を歌った。

会員は、ピアノ伴奏に合わせて「椰子の実」や「夏の思い出」など全26曲を披露。観客約70人も歌詞カードを見ながら一緒に歌った。訪れた山村照子さん(81)＝東区＝は「20代のときにラジオで聴いた曲ばかり。何年たっても忘れていない」と話した。

国民歌謡は1936年に始まったラジオ番

組をきっかけに流行。同会は2003年に藤本和一会長(95)たちでつくり、60～90代が月に1回集う。福祉施設

で歌うこともあり、藤本会長は「これからも元気に歌っていきたい」と意気込んでいた。

(新山京子)